

令和3年度 第3回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

- 1 日 時 令和3年11月12日（金）午前10時00分～午前11時00分
- 2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号
- 3 内 容 議事1 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂について
 議事2 第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂について

4 出席者 <座長>
 秋山企画財政部長

<専門委員>

瀬野 哲郎	渡部 輔	越智 善一	石丸 司
赤瀬 祐三	二宮 隆	吉武美由紀	川田 卓哉
高田 誠也	宇佐美浩子	村上あらし	岡村 泰彦
相原 正樹			

<構成員>

森山 徹	和田 浩一	渡邊 赴仁	中山 晃成
渡邊 泰洋	瀬尾 孝志	立町 祐作	森 会美
伊藤 政英	佐伯 栄一		

<PT及び事業担当者>

財政課	垣内あゆみ	市民生活課	那須 恵子
道路課	井手 則緒	下水道業務課	渡辺 修三
教育委員会事務局総務課	渡部 信一		

<事務局>

（市民が真ん中課）森課長、越智補佐、加藤係長、川崎係長、正岡係長、神野主査、河上主査

日 時 令和3年11月12日(金) 10:00~11:00

場 所 市役所11階 特別会議室1号・2号

<p>事務局</p>	<p>定刻がまいりましたので、会議を開催させていただきます。事務局を務めさせていただきます、市民が真ん中課の森と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、専門委員の皆様のお手元にタブレットを置かせていただいておりますが、現在進めてございます、市役所内の各種会議のペーパーレス化の試行実施といたしまして、ペーパーレス会議システムで議事資料をご覧いただくものとなっております。</p> <p>会議の開催前に、ペーパーレス会議システム及びタブレットについて説明させていただきます。</p> <p>本日は試行導入ですので、紙の資料と電子データ併用での会議とさせていただきますのでご了承いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>将来的には各種会議やミーティングについて、ペーパーレス化を視野に進めたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>少し時間をいただいて、操作の説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは少しお時間をちょうだいいたしまして、タブレットとペーパーレス会議システムを簡単に説明させていただきます。</p> <p>皆さんに今お配りしている画面に四つの資料写っておりますでしょうか。</p> <p>今、資料のそれぞれの表紙が映っている方につきましては一つ一つの資料をタップしていただくと、まず個々の資料が開いていきますので、よろしければ試してみてくださいと思います。</p> <p>次に、一つ前の画面に戻る際には左上に「戻る」のボタン、もしくは、それぞれの資料のタイトルが表示されていると思いますのでそちらをタップしていただければと思います。</p> <p>ですので開くときはどちらかタップしていただく、そして</p>

	<p>「戻る」の場合は左上というのを覚えていただければと思います。</p> <p>基本的に、こちら事務局の説明時や、ご質問、ご意見をいただく際には、事務局の操作によりまして指定のページを開くように今回はさせていただければと思います。</p> <p>ですので、皆様にページ送り等の操作をしていただく必要はありませんので、お願いいたします。</p> <p>なお、事前にお配りしている紙資料とタブレット内の資料データは基本的には同じものですが、事前説明でお配りした紙の資料のうち、資料2「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂案」について文言修正があり、資料3「定住自立圏共生ビジョン改訂案」について、本日までに軽微な文言修正や事業費金額の再確認による修正箇所が複数ございます。</p> <p>差替え後の資料は、タブレット内の電子資料のみ修正後のものに差し替えさせていただいておりますので、紙資料の再度の印刷・配布は控えさせていただいております。事業費をご確認いただく際は、お手数ですが電子データの方でご確認をいただけたらと思います。</p> <p>また、改訂後の最終版については、委員の皆様にご送付させていただき予定ですので、よろしくお願いいたします。</p> <p>もし、会議中に操作について支障等ございましたら、事務局職員が後方にスタンバイさせていただいております。対応いたしますのでお声かけください。</p> <p>以上、簡単ですがペーパーレス会議システム及びタブレットの操作説明となります。ご不明点等ございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>ただ今より令和3年度、第3回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催させていただきます。</p> <p>それでは、まず、開会に当たりまして、秋山企画財政部長からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、おはようございます。座長を務めさせていただきます、企画財政部長の秋山と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「今治市</p>

	<p>定住自立圏共生ビジョン」の2点につきまして、改訂のご相談をさせていただければというふうに思っているところです。</p> <p>特に、この総合戦略につきましては、徳永市長のマニフェストの重要施策の推進を明確に打ち出すために、内容の追加変更をさせていただいております。あわせて、昨今のコロナの影響という部分を踏まえた対策についても改訂の大きなポイントにさせていただいております。あわせて、各種データの部分についてはですね、直近の数字に置き換えさせていただいて、年次の見直しを実施するというので、今日資料の方をご用意をさせていただいておりますので、また忌憚ないご意見をちょうだいできればというふうに思います。</p> <p>また、定住自立圏構想の推進及び総合戦略に基づく取組を、より市民の皆さまに開かれたかたちで進めていくため、本ビジョン懇談会は公開の会議とさせていただいております。</p> <p>ということですので、会議録につきましても、あわせて市のホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中でも傍聴される方が入室する場合もございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>先ほどご説明させていただきましたように、担当の職員がつきますので、遠慮なくタブレットの操作等声をかけていただければと思います。</p> <p>それではよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料説明に入ります前に、人事異動に伴いまして、新たにご就任いただきました専門委員さんのご紹介をさせていただきます。</p> <p>愛媛県漁業協同組合 今治事業部 部長 二宮 隆 様 どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、今治明德短期大学 講師 上村 友希 委員におかれましては、本日、他の業務のため、やむを得ずご欠席となっております。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。今回使用する</p>

	<p>る資料は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」体系図 ・資料2 「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂案 ・資料3 「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン」改訂案となっております。 <p>皆様、資料はおそろいでしょうか。 では、ここからの進行を座長にお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>それでは、お手元の会次第にございますように、本日の議事案件は2件でございます。</p> <p>それでは、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂」につきまして、事務局から協議の進め方をご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは、協議の進め方についてご説明いたします。</p> <p>議事1の総合戦略の所要の改訂につきましては、資料1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」体系図及び資料2「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂案」に基づいてご協議いただきます。</p> <p>今回の改訂に伴い、削除箇所はグレーで塗りつぶし、赤字見え消しに、追加は赤字での記載としております。</p> <p>内容の変更や追加につきまして、主なものを事務局からご説明いたしました後に、委員の皆様からのご意見やご了解をいただければと思います。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言をよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>それでは、先ほどの説明について、なにかご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>ないようですので、先ほどの事務局からの説明のような流れで進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事1「第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂」につきまして、資料1の体系図と資料2の総合戦略改訂案をご覧ください。</p> <p>事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは総合戦略改訂案につきまして、ご説明させていた</p>

だきます。少し長くなりますがご容赦いただけたらと思います。

今回の改訂につきましては、大きく分けて2つの理由に基づくものとなっております。

一つ目は、ウィズコロナ、アフターコロナ時代への対応など、社会経済情勢の変化に応じた改訂を行うものでございます。

二つ目は、市長が、人口減少を食い止め「持続可能な経済循環するまち」として発展し続けるために掲げた公約を、目的を同じくする総合戦略にも明確に位置付けようとするものです。

体系図をご覧ください。

市長公約の3つの柱を基本理念に据えました。

本市が直面する広範な課題に多角的に対応していく必要がある中で、本市が進むべき方向性をしっかりと見定め進めるため、総合戦略を貫く3つの柱を基本理念に据え、取り組むことといたしております。

体系図をご覧ください。

3つの横断的目標の追加です。

一つ目、地域内経済循環の実現（瀬戸内クロスポイント構想の推進）です。「瀬戸内クロスポイント構想」は、地域内経済循環の考え方により、市外から所得を稼ぐ（消費、投資を呼び込む）だけでなく、稼いだ所得（消費、投資）の市外への漏れを止める。そして、市内で稼いだ所得を回す（経済を循環させよう）ということを目指すものです。この考え方を取り入れ、瀬戸内のへそにあたる今治市が、その立地条件を生かした取組を展開します。

二つ目、超スマート自治体への転換（行政のデジタル化・DXの推進）です。

ICT技術や、デジタル技術を活用した生活の変革（DX：デジタルトランスフォーメーション）を、取組を進める手段として取り入れていくこととしています。

三つ目、脱炭素社会も見据えたSDGsの推進による持続可能なまちづくりの推進でございます。

新たに、2050年カーボンニュートラルにむけた脱炭素社会の実現にも取り組むこととしています。

次に、具体的施策に新たに追加した項目や修正箇所について

て、主なものをご説明させていただきます。

資料2の10ページをご覧ください。今治あきない商社（仮称）の設立です。

先程ご説明しました「瀬戸内クロスポイント構想」の実現の中核となる組織として、「今治あきない商社」の設立を推進します。このあきない商社のイメージは地域版の総合商社です。市長が市の広告塔になり、今治市の持つ魅力的な地域資源の情報発信と販路拡大に努め、地域の稼ぐ力の創出と地域経済の好循環を生み出すという、地域経済活性化の司令塔としての役割を担うものにしていこうとしています。

19ページをご覧ください。今治新商品・新技術共創推進事業です。

市内企業と全国の企業・デザイナーのマッチングにより、新たな商品開発等を共創する（共に創る）取組を推進し、地域産業の高付加価値化を図るとともに、この共創を推進するプラットフォーム（共創ラボ）を設置し、市内事業者と本事業で培ったノウハウ・成功事例を共有していきます。

22ページをご覧ください。農業への法人参入、6次産業化の推進です。

多様な担い手の確保や生産性の向上に向けて、異業種法人からの農業参入について、技術確立や農地確保などにJAや愛媛県と協力しながら対応します。また、個人農家や任意団体の法人化についても推進します。

また、加工・直売の取組に留まらず、経営の多角化を目指し、農家レストランや農業体験、輸出などを検討されている農林漁業者等の窓口となり、関係機関との連携や支援策の検討、立案を行います。

23ページをご覧ください。地域新電力の設立に向けた調査・検討です。

地域新電力とは、地域内の発電電力を最大限に活用し主に地域内の公共施設や民間企業、家庭に電力を供給する小売電気事業のことをいうものです。

脱炭素の動きと連動して、日照時間にも恵まれた地域特性を生かし、太陽光等で発電した電気をもとに、エネルギーの地産地消、財源確保を進める体制を構築するための地域新電力の設立に向けた調査・検討を行います。

25ページをご覧ください。今治版ネウボラの創設及び中核

施設の整備です。

ネウボラとは、フィンランド語で「助言の場」を意味する言葉ですが、母親の妊娠期から子供の小学校入学まで、担当の保健師が子育てに関するあらゆる相談にワンストップで応じる仕組みです。このフィンランドのネウボラ制度を今治版で創設しようとするものです。

「女性が輝く、子どもが輝くやさしいまち“今治”」を目指し、切れ目ない強固な子育て支援を包括的に行う今治版ネウボラ「未来子育て支援機構」（仮称）を創設します。

また、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談ができ、安心して子どもと過ごすことができるとともに、子どもたちが遊びを通して学ぶことができる機能を備えた今治版ネウボラ推進の中核となる施設の整備も検討を進めていきます。

27ページをご覧ください。しまなみの子どもを育む交通費支援事業です。

島しょ部における少子化対策、子育て支援に寄与することを目的に、これまでの事業に加え、小学生以下の児童の休日・夜間に市内陸地部の小児科又は救急輪番病院を受診した際の交通費の一部支援を追加しました。

33ページをご覧ください。ふるさとキャリア教育です。

「しごと」分野の「帰って来いよ、故郷で働こう運動」の一環といたしまして、教育の部分でもキャリア教育の取組を進めていくこととしています。

次に、今治版コミュニティスクールの導入推進です。

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

さらに、今治版の特色として、地域の中の学校としてだけでなく、子どもたちの地域活動への参加など、子どもも地域に溶け込むことを通じて、地域とともに子どもが育つようなことも目指します。

34ページをご覧ください。日本一おいしい学校給食です。

学校給食における食と農の取組は継続しながら、子どもたちが10年後、20年後に「今治の給食はおいしかった」と思い出される給食を目指して、今治で活躍するプロの料理人、シェフとともに学校給食メニューを開発し、今までに無い、今治らしい学校給食を提供します。

35 ページをご覧ください。生きる力を育む教育です。

教育大綱の重点方針にも位置付けられている「新たな時代を切り開き、国際社会で活躍する人材育成」の実現を目指し、オンライン型学習などICT技術も活用しながら、子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組みます。

52 ページをご覧ください。しまなみアートミュージアム魅力発信事業です。

ウィズコロナ時代に対応した旅行スタイルとして、しまなみアートミュージアム7館をオンラインで巡るツアーを造成します。VR映像もツアーに盛り込みリアルな体験コンテンツを開発します。

54 ページをご覧ください。時代を先読みした観光需要の獲得です。

2025年に開催予定の大阪・関西万博の観光需要を見据え、これからの時代に適応した安心・安全で、新しい生活様式に適した新たな観光地域づくりを目指します。

次に、航路活用のユニーク観光事業です。

令和4年度開催の今治港開港100周年記念事業を契機として、民間事業者の連携のもと、サイクルシップや渡船を活用した離島周遊観光など、今治ならではのモデルコースを作成し、観光需要の掘り起こしにつなげます。

55 ページをご覧ください。「移住・定住支援策の充実」の取組の成果指標である「移住希望相談件数」、「移住受入れ窓口などを通じた移住の実現」の目標数値の上方修正です。

移住・定住支援事業については、今年度、新たに国の計画認定を受け、地方創生推進交付金を財源に事業を実施していますが、交付金事業のKPI設定にあたっては、令和2年度の実績数値が総合戦略の目標数値の推計を上回っている状況を加味して、総合戦略のKPIに目標数値を上積みいたしております。そこで、総合戦略のKPIについてもこれと整合を取った数値目標に上方修正するものです。

58 ページをご覧ください。ふるさと納税のパワーアップです。

返礼品として魅力ある地域特産品を更にブラッシュアップするとともに、超一級品にもかかわらず埋もれたままの農林

水産物の掘り起こしをいたします。

また、地方創生の取組に対する民間資金の積極的活用を促進するため、企業版ふるさと納税制度の活用を周知し、寄附を通じた新たなパートナーシップの構築、連携の強化を図ります。

66 ページをご覧ください。まちなか持続可能なにぎわいづくり推進事業です。

町中空間を活用し、はーばりー、商店街、芝っち広場、広小路などをつなぐ動線に持続可能なにぎわいを創出するため、これまで記載していた「中心市街地再生事業費補助事業」、「チャレンジショップ事業」について、「まちなか持続可能なにぎわいづくり」として包含したものに整理させていただきました。

67 ページをご覧ください。島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくりの具体的事業として、しまなみ総合事務所（仮称）の設置です。

市内において、特に過疎・高齢化が進行しているしまなみ地域において、地域のストロングポイントを活かした振興策及び地域住民の共助の力による持続可能な地域づくりを推進するため、必要な権限を持った「しまなみ総合事務所（仮称）」を設置します。

島しょ部高校魅力創造支援事業です。

今治西高等学校伯方分校、今治北高等学校大三島分校はそれぞれ島内に唯一の高校ですが、分校存続と地域活性化のため懸命な活動をしている、学校・地域住民の取組を支援し、地域に応援される魅力的な学校を創りあげていきます。

地域主体の学習支援を通じた学校の魅力向上の取組である地域塾「地域未来チャレンジ塾」や生徒等による魅力創造・発信事業などを通して、魅力を全国に発信し、市内外、県外からも生徒を呼び込むことを目指します。

続いて、しまなみ海道通行料の実質無料化の検討です。

島しょ部住民にとって生活道路であるしまなみ海道通行料について、現在の料金水準の維持、将来的には海峡部の料金がさらに低減されるよう、関係機関への要望活動を行います。

あわせて、住民の負担軽減に向け、財源などの課題を含め、あらゆる角度から調査検討を進めます。

	<p>70 ページをご覧ください。国家戦略特区を活用した近未来技術実証ワンストップセンターです。</p> <p>4 月に開設した近未来技術実証ワンストップセンターを窓口にも、地域課題の解決としての「自動運転」「ドローン」「AI・IoT」分野の実証実験について、国家戦略特区を活用して、国と共同でワンストップで支援します。</p> <p>最後に、最終版では、今回の改訂部分に関して、必要な用語説明を追加させていただく予定としております。</p> <p>総合戦略の改訂案についての説明は、以上でございます。</p>
座長	<p>ここまでの説明に関しまして、ご意見、ご質問がございましたら、よろしく申し上げます。</p> <p>このようにちょっとボリュームのある内容で変更してございます。何でも結構ですので、ご質問等ちょうだいできればと思います。</p>
A 委員	はい。
座長	<p>どうぞ。</p> <p>ちょっとマイクを。実はこのマイクも会議録システムというふうになっていきますので、マイクを使っただけであれば助かりますのでよろしくお願いいたします。</p>
A 委員	<p>承知いたしました。</p> <p>細かい質問でも大丈夫でしょうか。</p> <p>全体的にすごい新しく、効果がありそうな感じのする施策が多くて、聞いててすごいワクワクしました。</p> <p>ちょっと細かい質問なんですけども、まず電力のところなんですけども、電力小売りやった場合に、市の電力を使うことによる買う側のメリットって、何か具体的にあたりそうですでしょうか。</p> <p>電力比較サイトとかで、一月の料金が幾ら幾らぐらいになるなというのを結構比較して皆さんやるんですけども、単純に料金安くなるんだったらそれはすごい魅力的なんですけども、価格競争だけだとしんどいところもあるかもしれないので、何かこう、メリットが他にあったら、市ならではのかなと電力売れるのかなと思ったんですけども、補足的なものというか何かございますでしょうか。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>正直、まだそこまで行ってません。というのは、まずはですね、今公共施設に対する電力の供給っていうものはどれだ</p>

	<p>け必要かっていう調査をしている。あわせて、今現在、私どもバリククリーンのいわゆるシステム発電ってところを、自前の発電能力として持ってますけど、それ以外に例えば太陽光とか、そういったところの部分で、国の方もゼロエミッションの動きとかもあるので、そこらあたりと絡めながらですね、どういうふうなところまで、自前の発電が確保できるかっていう、今まさにその調査です。</p> <p>で、今A委員さんの方からおっしゃっていただいたメリットの部分っていうのは、まずは今先行してる自治体というか先行してるところなんかは、いわゆる価格というところで勝負をスタートしてるんですけども、昨今ですね、いわゆる天然ガスの供給がうまくいかずに、非常に仕入れが高騰してですね、逆ザヤというような状況も起こっているところがありまして、ちょっとそこらあたりは慎重にと。やっぱり、まずは公共施設で作る側、買う側のところで行政としてはメリットがそこに出てくるので、ですんで、まずそこをしっかりと固めたいというそういう動きで、それを今回総合戦略の中に位置付けをさしていただいでですね、もしよかったら国から補助金もらえたらなというようなところも含めて検討させていただいてるという現状です。</p> <p>以上です。</p>
<p>A委員</p>	<p>ありがとうございます。もう1件いいですか。</p> <p>ちょっと包括的なところなんですけども、すごく今回のやついいなと思ったのは、一貫性があるというか、デジタルとの相性が高い施策が多いなと思ってまして、例えばこのネウボラとかなんですけども、保育士さんと、ウェブ会議を通じて、コミュニケーションができたりだとかすると、おそらくその提供する側の負担も減ったり、受ける側も気楽に受けられたりだとかするかなとか。あと、トータル的に人口を増やすにあたって、まずその今治ってやっぱりすごい魅力的なまちで。例えば、私が知ってるところでいうと東京ですけども、東京の人たちが、知る機会さえ増えれば確実に来る人が増えるなという確信はありまして、今ネウボラって一例でしたけども、そういう点なんか。本当に東京で僕もそうだったんですけど、待機児童とか保育園がめっちゃめっちゃ狭いだとか、車が多くて子供が危ないとか、子供を育てるのにいい環境ではないなというのを思ってる人がものすごく多くてですね、お友達のフェイスブックとか見ても、そこをきっかけに、田舎に移住しようかなみたいなことを割と本気で考える人とか結構いらっちゃって。そういう時に例えば、あっと思い始めたら、相談してみてもいいんですけども。保育士さん</p>

までいかなくていいかもしれないんですけども、ウェブ会議で簡単に、東京でそういう気持ちがおきた人が、今治でそういうことが相談できるということを知っている状態に何らかの方法でして、相談できたりするとすごく効果あるのかなと思いました。

それで、子育てだけではなくて、この帰ってこいっていうUターンとかでも、効果が高いと思いますし。あとワーケーションとかを通じて、ワーケーションだけではないですね、東京すごい病んでる人が多くて、S Iとかシステム会社とかだと、3人に1人ぐらい軽く鬱病があるとか、やっぱすごいストレスが多い。そういうストレスが多いところなので。結構、何らかのきっかけでそういった移住促進をしてるっていうのが、今、割と今治市注目されてると思うんですけど、もっと入口で、まず今治に聞いてみようだとか、すごく軽くWeb会議とかで、そのデジタルっていう面です、相談できるところがあるということが伝わるということのは、担保できると、先ほどKPIが、上方修正されてましたけども、それよりもまたさらに上の方いけるんじゃないかなというふうな期待が持てる施策だなと思いました。

あとは商店街とかも、何か新しい施策とかっていうのもすごい楽しみにしてます。やっぱり外から来た方、結構期待されて来るので、港周りですね、今治といえば港みたいなどころがありまして。ここが賑やかになったら、僕が住んでるのは島しょ部ですけども、今治というところに観光に来るという方自体が増えればすごく、我々にもメリットがあつたりしますし、いいのかなと思いました。

一例ですけども、まちごとホテルとか、幾つか日本でも畠山さんところでもやってますけども、結構あそこを、こういう言い方するとすごい嫌われるかもしれないですけど、シャッター商店街って一般の方から認識される商店街にちょっと近い状態のところって、逆に、例えばそこを部屋として泊まれる、お菓子屋さん、全然作りはホテル向きじゃないけども、泊まることができるだとか、割とそういったような。色々方法あると思うんですけども、施策とかであつたりしても活性化とかに繋がったりするのかなってそれ本当にジャストアイデアで、思いました。

感想だけで、質問ではないんですけどすみません。
以上です。

座長

ありがとうございます。
ぜひ、移住担当も今日出席しておりますので、渡邊君ちょっと何かコメントいただければ。

<p>営業戦略課 (渡邊課長補佐)</p>	<p>営業戦略課定住交流推進室の渡邊でございます。 移住の事業につきましては、今年度から内閣府の地方創生推進交付金等を活用いたしましてですね、積極的な展開を図っているところでございます。それに伴いまして、K P I の方も上方修正をさせていただきました。</p>
<p>座長</p>	<p>はい。 先ほどのネウボラの話もご発言いただいたと思うんですけども、当然、そういう相談しやすい環境を作るっていうのが大きな今回のネウボラの目的でありますので、アプローチの仕方、とにかく相談しやすい、そういう体制や環境というところ、当然移住のお話も含めてですね、連携をしっかりと。今回、体系図の中で、横断的目標っていうのを、ちょっと縦に入れさせてもらって、そこにデジタルっていうもので、色々な取り組みをデジタルで繋いで、さらに横串で、色々な政策っていうのを絡めていきたいという、そういう趣旨で改訂をさせていただいてますので、ご意見いただきましてありがとうございます。</p>
<p>A 委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>座長</p>	<p>他に誰かご質問ないでしょうか。 ありがとうございます。</p>
<p>B 委員</p>	<p>質問というわけではないんですけども、個人的にもビーチクリーンの活動などをしているということもあって、そういうところに目がいてしまうんですが、今治市はやはり海と島っていうのが、観光のキラコンテツっていうことで、それを目指して観光にこられる方、あるいは移住される方なんかもいらっしゃると思うんですけども、実際、海岸出てみると、なかなかやはり世界的な問題でもありますけれども、海洋ゴミの問題が今治でもあると。これだけ海洋ゴミの問題が、世界的に言われている関係もあってか、住民の人たちの意識も結構高くなっているなっていうのが、ずっとビーチクリーンの活動してて、ここ1年ぐらい特に感じています。 先日、大新田、湊地区でビーチクリーンをするので、住民の皆さんぜひ参加してくださいというふうに投げかけて、30人ぐらい来たらいいかなと思ってたんですけども、80人ぐらいの方が、来ていただきました。 よそから、埼玉県から引っ越して来たんだけど、海がないところから来たので、こういう地域の海の活動、清掃活動、すごく新鮮だとか、小さい子供が10歳ぐらいなので、そろそろこういう活動に参加して、一緒に地域の人と学びの場になればいいなというような、そういう結構小さなお子さん連</p>

	<p>れの方もたくさん、集まっていただきました。</p> <p>そういう意味では、観光資源、今治の観光資源の大事なところでもありますし、海は14番ですね、SDGsの14番。ちょっと思ったより少ないなと思いますので、こういうところが本当に横断的なところに入るといいなと個人的には思うんですけれども、なかなかそこまでハードルが高いということであれば、例えば、先ほど言っていた今治市の、今治版コミュニティスクール、子供と地域の教育の部分であるとか、観光資源の磨き上げの部分であるとか、そういったところに14番もう少し落とし込めるようなことができるといいなというふうに思いました。</p> <p>それで、島ごとホテルでしたっけ。なんかそういう話もありましたけど、それとはちょっと違うかもしれませんが、島全体で、脱プラを目指してそれを観光資源にしている、メッセージにしているというところも世界にはあるようなので、そういうところも、なんかこう目指して、新しい観光資源にそういう脱プラだったりとか、海洋資源守るっていうことをメッセージを出すことで、新たな観光資源とか、皆さんへの今治の魅力のPRができていけばいいのではないかなというふうに思いました。</p> <p>以上です。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。観光の担当の方からも少し。</p>
<p>観光課（中山課長補佐）</p>	<p>はい、観光課の中山です。</p> <p>先ほどB委員さんがおっしゃられた海岸清掃、確か教育コミュニティスクールっていうので、バーリースクールをされてる方がされていたり、うちの観光課の職員もビーチクリーンしなみの海岸清掃とかにもよく参加させていただいております。今治市として観光の施設管理というところで、海岸、海水浴場という管轄での管理をしてないものですから、観光という観点から海水浴場のある漁協さんの方に、夏になると、サメ避けネットとかの補助金を出したりはしているんですけど、そこへ清掃となりますと、杓子定規で申し訳ないんですけど、港湾課、観光課、それと国立公園でしたら公園緑地課と、いろいろ管轄もある中、「横断的目標で、全体で見るのがいいね」というB委員さんのおっしゃるのもごもっともなお話です。</p> <p>ちょっと話題がそれるかもしれないんですけど、コロナの関係です、今、どこの島とは申しませんが、島に観光客が訪れるという中、島の方たちができたら来ないで欲しいと、観光客からのコロナ感染が怖いので、住民の生活、命を守るために来ないでほしいっていうような雰囲気がありま</p>

	<p>す。当然、島を一つの観光施設として運営できていけば、すごく打ち出しやすいとは思いますが、ちょっと今コロナの関係で、島をあげてとかっていうような観光目線の方向には行きにくい状態であります。</p> <p>ただ、コロナが明けてきましたら、やはり今治市の方でも、今度、株式会社しまなみさんが運行されるサイクルシップも完成しましたので、海の資源を活用しまして、どんどん島のPRをしていきたいとは考えております。</p>
<p>座長</p>	<p>それから水産課の立町君、海洋環境対策みたいな今取り組みもしあったら紹介してあげてください。</p>
<p>水産課（立町主査）</p>	<p>はい、水産課の立町と申します。</p> <p>水産課の方では、現在、小型底びき網漁業とってですね、網を使う漁師さんが多い漁協さんですね、漁と一緒にプラスチックゴミとかですね、魚以外がとれたときに、一緒にゴミを回収してもらってですね、それを処分してもらおうという、海洋ゴミとか海底ゴミの対策で、そういった事業をしています。</p> <p>で、あとそれは一応環境省の補助金をいただいたりとかしてるんですけど、それ以外にも、場所によっては、「海を守る会」みたいな組織を、地元の方とですね、漁協さん、漁師の方と作っていただいて、年に数回、海岸清掃ですとか、あと、無人島に行ってますね、ゴミを拾ったりゴミ処分したりとかっていうそういった環境、海洋ゴミとか環境対策をしたりしてます。</p> <p>あと、桜井小学校と中学校の方で、年に数回、環境学習みたいなのもしてまして、そういった取り組みを今後も、今、海洋ゴミとか海底ゴミとかっていうのが、結構問題になってるので水産課の方も、今後、積極的に取り組んでいけたらなっているのは思っております。</p>
<p>座長</p>	<p>最後に、SDGsの14番の件について。</p>
<p>事務局</p>	<p>B委員さんからいただきましたご意見ですね、やはり海洋資源の保全ということが、ブルーツーリズムとかそういうふうなですね、新たな観光資源の創出、そういう観光資源を守っていくっていう視点に繋がると思います。</p> <p>新たな観光需要の獲得っていう、そういう部分をですね、14番の海洋資源っていう、その意識を持つとか、そういう視点を取り入れるっていうところで、改訂に入れさせていただけたらと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>座長</p>	<p>はい。よろしいでしょうか。</p> <p>他にご意見等ございませんか。</p>

	<p>ありがとうございます。</p>
C委員	<p>すいません。ちょっと私事なんですけど、島の人間でちょっと発言させていただきます。</p> <p>67ページのですね、島しょ部高校の魅力について書かれております、伯方分校と大三島分校、それぞれあります。</p> <p>で、伯方分校の場合ですね、もう、たぶん次年度定員割れしたら、募集停止かなというの聞いております。</p> <p>この辺、もし募集停止になったら、これをずっと続けていけるのかというのが一つどうなのかなというのがございます。</p> <p>また、伯方分校、大三島分校それぞれ残ったらいんですけど、今後の流れを見たら、難しいかなと思っておりますので、できたら、島しょ部ですね、一つの高校を残すような考え方もいいのかなと思いますのでその辺、どういうふうか、伯方も多分もう次年度で、厳しいかなと思うんですけど、それは何か、変えることはできるんですか、募集停止とか、そういうのは難しいですよ。</p>
教育委員会総務課（渡部課長補佐）	<p>はい。教育委員会総務課の渡部と申します。</p> <p>ご発言の通り、伯方分校につきましては、令和4年度、入学生が30人以下ということになりましたら、令和5年度から募集停止という形になっております。</p> <p>あと、県立学校の再編整備につきましてはですね、今、愛媛県の方が、令和5年度以降十年間を見据えた学校の再編計画というのを、策定中でございます。</p> <p>今治市としましては、その計画の作成に関しまして、地域協議会で、地域の意見を発言する機会がございますので、市長をはじめ地元代表の方々含めまして、存続に向けた要望を続けているところでございます。</p> <p>市におきましても、9月議会におきまして、分校魅力創造補助金を議会の方で承認していただきまして、今、伯方分校、大三島分校両校におきまして、それぞれ地域の代表の方と協力いたしまして、存続に向けて活動を進めておるという状況でございます。以上でございます。</p>
C委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>あともう一つですね、その下のしまなみ海道通行料無料化、こちらの方、従来からずっと出ております。</p> <p>なかなか難しいと思いますけど、今後もですね、無料化に向けて取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>これはもう、ただの意見ですので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございました。</p>

	<p>じゃ、D委員さんお願いします。</p>
<p>D委員</p>	<p>ちょっとこれ、今ここで聞くことかどうかわからないんですけど、元々の考え方なんだけど、総合戦略というのは、この総合計画の中から、人口問題の減少の克服とか地域課題の解決を、ともに働くとか、ともに育むとか、ともに感じるっていうのを横断的に整理して、これからの、これでアプローチをしていこうということだろうと思うんですけど、その中でちょっとこうずっと見てみると、資本整備みたいなものは全然この中にはないんですね。</p> <p>例えば、道路とか下水とか水道とか、あるいは港とか医療とか、あるいは災害とか教育とか、こういう部分からのアプローチっていうのはほとんどないんだけど、これは、その総合戦略の中で謳うべきものではなくて、そんなのでもなくて、総合計画の中でやっていくということでもいいのか。</p> <p>そういうことでいいのかね、ちょっとわからんですけど。</p>
<p>事務局</p>	<p>すいません。</p> <p>D委員からの質問の内容なんですけど、やはりこの総合戦略というのは人口減少対策に資する事業どちらかというソフト事業、国の推進交付金とか、そういうふうな交付金を取っていくための計画という位置付けでございましてですね、すべて市の色々な施策を網羅してるのは、ご承知のように総合計画の中の実施計画っていう中でですね、各事業というのを個別に整理をさせていただいているところでございます。</p> <p>ですから、総合戦略につきましては、どちらかという、そういう人口減少、少子高齢化とかですね、そういうものに対する、どちらかというソフト事業に対しての色々な施策っていうのを、このそれぞれの柱にぶら下げていったのがこの計画という位置付けでございます。</p>
<p>D委員</p>	<p>でもね、人口減少問題をとらえるということになると、資本整備とかそういうふうなものが大きな根本的な問題で関わってくるんで、そこら辺からのアプローチっていらんのかね。</p> <p>この中でいうと、人口減少問題の克服と、地域課題ということになると。世の中には人口減少ということになると、例えば、道路でも港湾でも医療でも教育でも、特に教育なんかでしたらお母さんがものすごい熱心だし、そういうふうなことからのアプローチっていうのは、ちょっとこう言うんとなんやろ、はでかましいとこだけ書いとるんやけど、それはそれで結構な事なんですけど、そういうふうな根本的なところからのものっていうのは、この中で検討するべきものではないのかな。国の方がどういうふうな位置付けしてるのかよう</p>

	<p>知らんのですけど。と思うんですが、検討していただいたらと思います。</p>
座長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>欲どしい計画の作り方をしているというふうに理解をいただいたら。というのは、国の方で先ほどご紹介させていただきました、地方創生推進交付金という交付金をいただくためにこの計画を策定してまして、その対象事業というのが、基本的にハードは駄目というのがございまして、そこらあたりをちょっと色分けをして、基本的にこの計画に載っとればその対象となって、改めてその個別の事業に対して色々な計画をまた詰めたものをまた国から認定もらうような形になるんですけど、まずはこの計画に載っとらんとだめよというところがあります。</p> <p>で、対象になってないそういうハードとか、そういった部分のところまで、この戦略の中には入れずに作ってきておりまして、対策の必要性という部分については今、説明させていただいた総合計画の中にしっかり入れてるんですけども。ちょっとストレートに、これに対するお金が欲しいというところのものを列挙させていただいてるという作り方をさせていただいています。</p> <p>今後、国の方でそういった辺りの制度が、政権も変わったということもありますので、そこあたりは敏感に反応させていただいて、またご相談をさせていただく機会があればというふうに思います。</p> <p>以上です。</p>
座長	<p>他にありますかでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
E 委員	<p>よろしくお願ひします。</p> <p>市長の、この体系図の中の地域内経済循環の実現ということで、今治市外からお金を引っ張ってきて、そして今治市内でお金を回したいというところの中で、この委員にさせていただいてずっと話をしてるんですけど、ふるさと納税の関係で、今治市は収入が多いと思います。これをこれからももっと多くしていくために、この総合戦略を絡めて、企業が農業にも従事して、或いは漁業とかにも従事して、ふるさと納税に出せるいいものを作る、或いはふるさと納税じゃなくても、一般に売買できるものを作っていくということをしていかないといけないと思います。</p> <p>その中で、ふるさと納税に関して、たくさん色々なものを出すというやり方もあると思いますが、その中でリピート客を増やすということになると、ある程度洗練されたという</p>

	<p>か、ある程度の基準を設けて、出すという方向を考えていくのか、それとも、なんでもいいから出していくというふうにするのかという方向性がもしあれば教えていただきたいなと思います。</p> <p>というのは、やっぱりリピーター客を増やすためには、良いもので、また頼みたいという思いをしてもらった方が、個人的にはいいのかなというふうな思いがあってちょっと質問させていただきます。</p>
<p>座長</p>	<p>私の方から、正直これまでタオルというキラークンテンツがございましたので、その分で県下2位ぐらいの納税額、今8億を超えてる、ふるさと納税額をいただいておりますので、非常にありがたい存在です。</p> <p>正直、そういう環境だったので、E委員の方からおっしゃっていただいたところの部分、ちょっとこう抜かっていたところはあると思います。</p> <p>で、これから、できる限り門戸を広げていこうという考え方があるんですけども、もう一つ、やっぱりその最近よくCMで、「ふるさとチョイス」とか「さとふる」とかあると思うんですけども、いわゆるふるさと納税を紹介するサイトの方も、今、委員におっしゃっていただいた、特化したですね、ちょっと高級品だけそろえてみて、そういうんで、どこでもは入れないみたいな、タオルはやっぱり今治だろうみたいな、そういうアプローチもあるような状況があります。</p> <p>そういったところの動向も踏まえながら、これからちょっと、対策を練っていこう、そして今日、ご提案申し上げております「あきない商社」、そこらあたりの活動というところの中でですね、ふるさと納税っていうのは非常に大きなテーマというふうにとらえてますので、今いただいたご意見も踏まえながらですね、どういうものが一番ベターなのかっていうのは、考えていきたいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>座長</p>	<p>他にありますか。大丈夫ですか。</p> <p>すいません、もう一つ議題がございますので、先に進めさせていただきますらと思っておりますけれども、先ほどいただいたご意見の部分、また修正をして、B委員さんの方からいただいたご意見のあたりは、修正をさせていただいたらというふうに思います。</p> <p>また、市の担当者と専門委員さんとの間で調整をさせていただくんですけども、最終的にですね、皆さんがたの方に、また資料の方をどういう形になるかわかりませんが、お目通しをいただくような形にして、最終確認をいただ</p>

	<p>いた上でというふうに進めさせてもらえればと思います。</p> <p>今後、予定といたしましては、12月の市議会において議会からもご意見をちょうだいした上で、この改訂版を策定、確定させまして、12月の中旬には公表したいというふうに思います。</p> <p>それでは、議事の1番目の総合戦略の改訂につきましては以上とさせていただきます、次の議題であります「第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂」について、事務局から、まずは、協議の進め方についてご説明申し上げたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、ご説明いたします。議事2の共生ビジョンの所要の改訂につきましては、資料3の共生ビジョン改訂案に基づいてご協議いただきますが、計画期間中の事業費を最新の数字に更新するものが中心であり、変更箇所が多数ありますので、事業費の増減が大きいものや、新規追加、削除などを中心にいくつかピックアップして事務局からご説明したうえで、委員さんのご意見などをいただければと思います。</p> <p>こちらの資料につきましては、削除箇所はグレーで塗りつぶし、追加は赤字での記載としております。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。</p>
座長	<p>はい、それでは、議事2の進行について、なにかご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、早速ですけれども、議事2「第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂」につきまして、資料3「第4次今治市定住自立圏共生ビジョン（案）」をご覧ください。</p> <p>事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p>それでは定住自立圏共生ビジョン改訂案につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料の20ページをご覧ください。「子どもが真ん中のまちづくり」の項目でございます。島しょ部に居住する妊婦・乳児の健診受診、産婦健診、産後ケア事業の利用に加え、今年の7月から小学生以下の児童の休日・夜間に市内陸地部の小児科又は救急輪番病院を受診した際の交通費の一部も支援するように拡充しております。それに伴いまして、事業名を「島しょ部妊産婦乳児検診促進事業」から「しまなみのこどもを育む交通費支援事業」へ変更しております。</p>

	<p>31 ページをご覧ください。「生涯学習機能を充実させる図書情報のネットワーク化」の項目でございます。電子図書館サービスを拡充するとともに、地域資料のデジタル化につきましても検討する内容を追加しております。</p> <p>51 ページをご覧ください。「まちなかにおけるにぎわい・交流の創出」の項目でございます。定期的な朝市「今治マルシェ」の開催の検討だけではなく、中心市街地の持続的な賑わいを創出する施策を展開することとしております。</p> <p>80 ページをご覧ください。「生活交通バス路線対策」の項目でございます。地域公共交通ネットワークの再構築を推進するため、成果指標を「市内生活交通バス補助路線系統数」から「市内生活交通バス補助路線系統及びフィーダー系統の維持」に変更しております。補助路線系統からフィーダー系統に変わるものの全体の系統数は維持することとしております。</p> <p>87 ページをご覧ください。「地域間格差のない ICT 環境の整備」の項目でございます。^{フォージー}4 G（第4世代高速通信）に加えまして、^{ファイブジー}5 G（第5世代高速通信）を含む成果指標に変更しております。</p> <p>99 ページをご覧ください。「海のみち」の交流を支える海上交通の充実」の項目でございます。地震・津波に対する漁港及び背後集落の安全対策として、施設の機能強化及び避難施設、避難路等の整備を行う「漁港施設機能強化事業」を追加しております。</p> <p>共生ビジョンの改訂案につきましては、以上でございます。</p>
<p>座長</p>	<p>はい。共生ビジョンの主な改訂箇所についての説明が終わりました。この内容につきまして、ご質問等、ご意見ございましたらお願いいたします。</p> <p>先ほど、D委員さんから言われたように、ハード系はこっちの方入ってます。</p> <p>先ほどの議事1の方は内閣府の方の支援、こっちの方は総務省の方の支援をいただけるということになっておりまして、特に今治市の場合は、広域で合併したということもございまして、こういう共生ビジョンという制度の中で、特別に</p>

	<p>というか、県内では今まだ2ヶ所しかこの指定いただいてないので、それでこの計画を随時見直しをさせていただいております。</p> <p>何かご質問等ございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>そうしたら、ご意見がないということでございますので、今回提案をさせていただきました事務局の案ということで、進めさせていただければというふうに思います。</p> <p>委員の皆様には、後日確定版をお送りさせていただきます。</p> <p>以上で本日の議事がすべて終了いたしました。委員の皆様、ご意見をいただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>続きまして、今後の予定について事務局よりお時間をいただいております。</p>
事務局	<p>それではご説明いたします。今年度のビジョン懇談会につきましては今回が最後となりますが、来年度第1回目のビジョン懇談会は、5月頃を予定しております。第1回目は、今年度と同様、地方創生関連の各種交付金を充当しました事業の効果検証作業がございます。委員の皆様におかれましては、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>
座長	<p>はい。先ほどのスケジュール等につきまして何かご意見等ございましたら。よろしいでしょうか。</p> <p>先ほどもご説明申し上げましたように、今年度最後ということでございます。</p> <p>せっかくの機会でございますので、今日の協議内容以外にもそれぞれの担当の職員も同席させていただいておりますので、何でも結構ですので、ご意見をいただいたらというのと。</p> <p>あと実は今日ペーパーレスということで会議システムを使わせていただいております。正直我々もまだ、何回かぐらいしか多分こういう形で職員以外の会議でも使ったっていうのはない。今回が最初なんで、我々も手探りなんですけど良ければ何かご意見等いただいたらですね、今後こういう形で会議の</p>

	<p>方のペーパーレス化で進めていきたいなというふうに思っておりますので、その点についてのご意見がちょうだいできればありがたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
F 委員	<p>今回、ペーパーレス化ってすごくいいと思っております。</p> <p>それぞれ資料の方を色々めくらせていただくんですけども、事務局さんの方から、めくっていただけて非常に助かりました。</p> <p>ただ、見返す時にですね、今日、例えば説明のあった、何項目かあったと思うんですけども、それを例えばしおりにしていただいてですね、すぐに見返すことができるようなことにできれば、すごくもっと便利になるかなと思いました。</p> <p>また、すごい大変な作業になるのかもしれないですけども。</p>
座長	<p>ありがとうございます。私自身がそこについていけないので、何とも答えができませんんですけど、多分この辺りに立っている職員がわかっていると思うので、ちょっと参考にさせていただいたらというふうに思います。</p> <p>他に、ございませんでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>
E 委員	<p>最終的に配られるものは紙で配られるんですか、それともデータで配られるんでしょうか。</p>
座長	<p>はい。</p> <p>一応ですね、まずはデータで、最終版確定版をお配りしたいと思いますが、紙がいるとおっしゃっていただいたら、それはそれでお送りさせていただこうというふうに思います。</p> <p>以上です。</p> <p>他にないでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>委員の皆さんにおかれましては大変お忙しい中、3回にわたる会議の運営にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、令和3年度第3回今治市ふるさと共創共生ビジョン懇談会を閉会させていただきます。</p> <p>どうも皆さんありがとうございました。</p>